

令和元年

火災・救急の概況

火 災

14件

大洲市 11件
内子町 3件

救 急

3,326件

大洲市 2,470件
内子町 853件
管轄外 3件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要

令和元年中に組合管内で発生した火災は14件で、建物焼損棟数16棟、建物焼損床面積551平方メートル、死者数1人、負傷者数0人、30日死者数(負傷後48時間以上30日以内の死者数)0人、り災世帯数3世帯、り災人員13人、損害額29,927千円となっている。

前年と比較すると、死者数は昨年と同数である。その他出火件数、焼損棟数、建物焼損床面積、り災世帯数、り災人員及び損害額については減少している。(1表)

2 出火件数

出火件数は14件で、前年と比べ12件減少しており、1ヶ月あたり約1件の割合で火災が発生している。

出火率(人口1万人あたりの出火件数)は2.37件であり、全国の出火率2.97件(平成30年)と比較すると0.6件低くなっている。(6表)

(1) 市町別出火件数

市町別出火件数は、大洲市11件(内訳:大洲8件、長浜3件、肱川0件、河辺0件)、内子町3件(内訳:内子1件、五十崎1件、小田1件)となっている。(2表、3表)

(2) 火災種別

火災種別にみると、建物火災が12件(全火災の85.8%)で最も多く、他は林野火災が1件(7.1%)、車両火災が1件(7.1%)となっている。(2表、4表)

なお、建物火災12件を用途別にみると、作業場等が4件、倉庫等が4件で建物火災の66.7%を占めている。(10表)

(3) 四季別出火件数

四季別出火件数は、秋季における火災が6件と多く、次いで春季が4件、夏季及び冬季がそれぞれ2件となっている。(5表)

3 損害額

損害額は29,927千円で前年より8,422千円減少している。内訳は、建物火災における損害額が最も多く29,879千円(99.8%)であり、他は車両火災の損害額が48千円(0.2%)となっている。(1表)

また、1件あたりの損害額は、2,138千円であり、前年の1,475千円と比較すると663千円増加している。(7表)

4 出火原因

出火原因別にみると、総出火件数14件のうち、「火の粉」による出火が3件で最も多く、次いで「たき火」「不明」が2件、その他の原因が各1件の順となっている。(8表)

5 初期消火対応

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、総出火件数14件のうち初期消火を試みたものは10件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は5件である。

また、初期消火に効果のあったものは、「消火器」及び「消火栓」が2件、「水道、浴槽等の水をかけた」が1件となっている。(9表)

6 死傷者

死傷者は、火災による死者1人(応急消火義務者1人)、30日死者0人で、前年に比べ死者は増減なし、負傷者は4人減少となっている。(11表)

7 まとめ

以上、令和元年中の火災概況であるが、前年と比べて出火件数が12件減少している。うち建物火災は5件減少、死者については前年と同様1人となっている。り災人員については前年に比べ22人減少しており、出火率は全国平均を0.6件下回っている。

出火原因は「火の粉」によるものが3件と最も多く、その要因としては、ボイラー焚口、わら焼きからの火の粉によるものが多い。次いで「たき火」によるものが2件となっている。

このことから、防火対策の取り組みとして、ボイラー設備等の維持管理を責任者に徹底してもらい、住民に対しては、野焼き及びたき火を実施する際により一層火災予防に努めるよう周知する必要がある。

さらに、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置、維持管理をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民を主体とした防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

1表 火災の概況

区 分	単位	令和元年	平成30年	増減数
出 火 件 数	件	14	26	▲ 12
建 物	〃	12	17	▲ 5
林 野	〃	1	0	1
車 両	〃	1	4	▲ 3
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	0	5	▲ 5
焼 損 棟 数	棟	16	40	▲ 24
全 焼	〃	4	23	▲ 19
半 焼	〃	0	2	▲ 2
部 分 焼	〃	8	9	▲ 1
ぼ や	〃	4	6	▲ 2
建物焼損床面積	m ²	551	1,723	▲ 1,172
建物焼損表面積	m ²	61	35	26
林野焼損面積	a	6	0	6
死 者	人	1	1	0
負 傷 者	〃	0	4	▲ 4
30日死者	〃	0	0	0
	世帯	3	15	▲ 12
全 損	〃	1	7	▲ 6
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	2	8	▲ 6
り 災 人 員	人	13	35	▲ 22
損 害 額	千円	29,927	38,349	▲ 8,422
建 物	〃	29,879	37,239	▲ 7,360
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	48	693	▲ 645
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	0	417	▲ 417
爆 発 損 害 額	千円	0	0	0

※ ▲は減

2表 市町別火災状況

区分 市町別		火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額（千円）	
		合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち 建物損害
大洲市	大洲	8	7	1			405	19	6				11	2	28,270	28,270	
	長浜	3	2		1		108	39					2		1,099	1,051	
	肱川																
	河辺																
	小計	11	9	1	1		513	58	6				13	2	29,369	29,321	
内子町	内子	1	1				38						1		546	546	
	五十崎	1	1					3					1		11	11	
	小田	1	1							1			1	1	1	1	
	小計	3	3				38	3		1			3	1	558	558	
合計		14	12	1	1		551	61	6	1			16	3	29,927	29,879	

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
令和元年	大洲市	大洲	1			1	2					2	1	1	8
		長浜							1		1		1		3
		肱川													
		河辺													
	内子町	内子													
		五十崎					1						1		2
		小田								1					1
合計			1			1	3		2		1	2	3	1	14

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成30年	大洲市	大洲	2	1		1			2	1	1	3	2	1	14
		長浜				1	1			2			1		5
		肱川											1		1
		河辺													
	内子町	内子		1	2								1		4
		五十崎											1		1
		小田										1			1
合計			2	2	2	2	1		2	3	2	5	4	1	26

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	令和元年	平成30年
建 物 火 災	85.8	65.4
林 野 火 災	7.1	0.0
車 両 火 災	7.1	15.4
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	0.0	19.2
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	令和元年				平成30年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	4	29.0	21,949	73.4	5	19.2	10,406	27.1
夏 季 6月～8月	2	14.0	150	0.5	5	19.2	2,308	6.0
秋 季 9月～11月	6	43.0	4,821	16.1	11	42.4	23,290	60.8
冬 季 12月～2月	2	14.0	3,007	10.0	5	19.2	2,345	6.1
合 計	14	100.0	29,927	100.0	26	100.0	38,349	100.0

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数	
		令和元年	平成30年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	2.37	4.32	▲ 1.95	
	出 火 件 数	14	26	▲ 12	
	うち建物火災	12	17	▲ 5	
	人 口	59,052	60,121	▲ 1,069	
	世 帯 数	26,967	27,039	▲ 72	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	2.37	4.10	▲ 1.73
		出 火 件 数	8	14	▲ 6
		うち建物火災	7	9	▲ 2
		人 口	33,747	34,134	▲ 387
		世 帯 数	15,487	15,432	55
	長 浜	出 火 率	4.74	7.66	▲ 2.92
		出 火 件 数	3	5	▲ 2
		うち建物火災	2	3	▲ 1
		人 口	6,325	6,525	▲ 200
		世 帯 数	3,112	3,138	▲ 26
	肱 川	出 火 率	0	4.84	▲ 4.84
		出 火 件 数	0	1	▲ 1
		うち建物火災	0	0	0
		人 口	1,987	2,065	▲ 78
		世 帯 数	888	906	▲ 18
	河 辺	出 火 率	0	0	0
		出 火 件 数	0	0	0
		うち建物火災	0	0	0
		人 口	647	676	▲ 29
		世 帯 数	371	377	▲ 6
内 子 町	内 子	出 火 率	1.11	4.31	▲ 3.2
		出 火 件 数	1	4	▲ 3
		うち建物火災	1	3	▲ 2
		人 口	9,049	9,284	▲ 235
		世 帯 数	3,921	3,974	▲ 53
	五 十 崎	出 火 率	1.94	1.93	0.01
		出 火 件 数	1	1	0
		うち建物火災	1	1	0
		人 口	5,147	5,182	▲ 35
		世 帯 数	2,110	2,099	11
	小 田	出 火 率	4.65	4.43	0.22
		出 火 件 数	1	1	0
		うち建物火災	1	1	0
人 口		2,150	2,255	▲ 105	
	世 帯 数	1,078	1,113	▲ 35	

※ ▲は減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。
(平成30年全国出火率 2.97)

※ 人口は令和2年1月16日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数	損害額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成22年	25	27,931	1,117
平成23年	26	24,976	961
平成24年	31	43,479	1,403
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475
令和元年	14	29,927	2,138

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
	3	21.5	22,484	75.13
その他の配線器具	1	7.1	5	0.01
た き 火	2	14.4	256	0.86
グラインダーの火花	1	7.1	2,751	9.19
ごみ焼却炉の火の粉	1	7.1	11	0.04
アセチレンガス溶接機	1	7.1	149	0.50
た ば こ	1	7.1	902	3.01
煙 道	1	7.1	3,315	11.08
摩擦による発熱	1	7.1	48	0.16
不 明	2	14.4	6	0.02
合 計	14	100.0	29,927	100.00

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

効 果	消火器具別			水道、浴槽等の水をかけた	消火器	水バケツ	消火栓	寝具、衣類等をかけた	その他	合 計
	効 果 有	効 果 無								
効 果 有	1	2	0	2	0	0	0	0	5	
効 果 無	2	3	0	0	0	0	0	0	5	

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年 別	住宅 (併用含む)	作業場 乾燥場	倉庫 納屋 物置き	酪農場	養護老人 ホーム	店舗	その他	合計
	令和元年	1	4	4	1	1	0	1
平成30年	9	3	4	1	0	0	0	17

11表 死傷者の区分

区 分	死 者	負 傷 者	30日死者
消 防 吏 員	0	0	0
消 防 団 員	0	0	0
応急消火義務者	1	0	0
消 防 協 力 者	0	0	0
そ の 他 の 者	0	0	0
合 計	1	0	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況

救急車は地域を守る セーフティネット



全国救急受診アプリ「Q助」

消防庁では、住民による緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受信手段の情報を提供するため全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の提供を開始しました。

スマートフォン版（Apple、Google）、Web版があります。

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html

※スマートフォン版のダウンロード容量は2MBで、使用するときの通信料はかかりません。

救急の概況

1 救急概要

令和元年中における組合管内の救急概要は、出動件数3,326件（前年比18件減）、搬送人員3,146人（前年比11人減）であり、前年と比較して件数と搬送人員ともに減少している。（1表）

また、組合に配置している救急車6台全てが高規格救急車で、全ての救急事案に救急救命士が搭乗し出場している。（2表）

2 事故種別救急状況

事故種別救急件数は、最も多いのが急病で1,970件（59.2%）、次いでその他（主に転院搬送）561件（16.9%）で、以下、一般負傷、交通事故、労働災害、自損行為、運動競技の順となっている。前年と比較すると、増加しているのは、運動競技2件、一般負傷13件、加害1件、自損行為8件、その他（主に転院搬送）68件であり、他の事故種別については、減少となっている。（3表）

3 市町別救急状況

市町別救急件数は、大洲市が全体の74.3%（2,470件）で、内子町が25.6%（853件）、管轄外が0.1%（3件）となっている。

大洲市の内訳としては大洲1,934件（78.3%）、長浜379件（15.3%）、肱川126件（5.1%）、河辺31件（1.3%）で、内子町の内訳としては内子500件（58.6%）、五十崎215件（25.2%）、小田138件（16.2%）となっている。（4表）

4 時間帯別救急状況

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が10時から12時の483件、最も少ない時間帯は、2時から4時の99件となっている。（5表）

5 月別曜日別救急状況

月別の救急件数は、1月の319件が最も多く（前年は7月の389件）、最も少ない月は、2月の232件（前年は6月の230件）である。

また、曜日別の救急件数は、火曜日の518件が最も多く（前年は日曜日の499件）、最も少ないのは、木曜日の428件（前年は、水曜日の441件）である。（6表）

6 応急処置状況

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、その他の応急処置（検温等）、保温、心電図、酸素吸入、聴診器による聴取の頻度が高く、除細動は7件実施している。

救急救命士が行う救急救命処置については、ラリングアルマスク等を用いた気道確保を17件、薬剤投与を5件実施している。また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は5件、血糖測定は26件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は3件となっている。（7表）

7 医療機関別搬送人員状況

収容医療機関の状況は、搬送人員の80.0%（2,516人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.8%（2,486人）は救急告示病院に搬送している。また、管外医療機関への搬送は、630人であり、その50.0%に当る315人はその他（主に転院搬送）によるものである。（8表）

8 市町別人口割救急状況

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生割合を比較すると、最も発生頻度が高いのは小田の64件、次いで肱川63件、長浜60件、大洲57件、内子55件、河辺48件となっており、最も発生頻度が低いのは五十崎で42件となっている。（9表）

9 高齢者事故種別搬送人員状況

高齢者（「65歳以上の者」をいう。以下同じ）に関する救急状況は、搬送人員2,185人で昨年に比べ10人減少しており、全搬送人員の69.5%を占めている。（1表）

また、事故種別でみると、急病が1,280人（58.6%）と最も多く、次いで一般負傷416人（19.0%）、その他（主に転院搬送）399人（18.3%）、交通事故81人（3.7%）の順となっている。（10表）

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系が219人（17.1%）と最も多く、次いで心疾患147人（11.5%）、消化系123人（9.6%）、脳疾患118人（9.2%）の順となっている。（11表）

1表 救急概要

区分 年 別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大洲 消防署 本署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所	合 計	大洲 消防署 本署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所
令 和 元 年	3,326	1,876	379	211	701	159	3,146	1,779	355	199	660	153
							2,185	1,190	277	133	464	121
平 成 3 0 年	3,344	1,832	363	242	752	155	3,157	1,737	339	224	710	147
							2,195	1,135	271	160	519	110
昨 年 比 増 減	▲ 18	44	16	▲ 31	▲ 51	4	▲ 11	42	16	▲ 25	▲ 50	6
							▲ 10	55	6	▲ 27	▲ 55	11

※ ▲は減

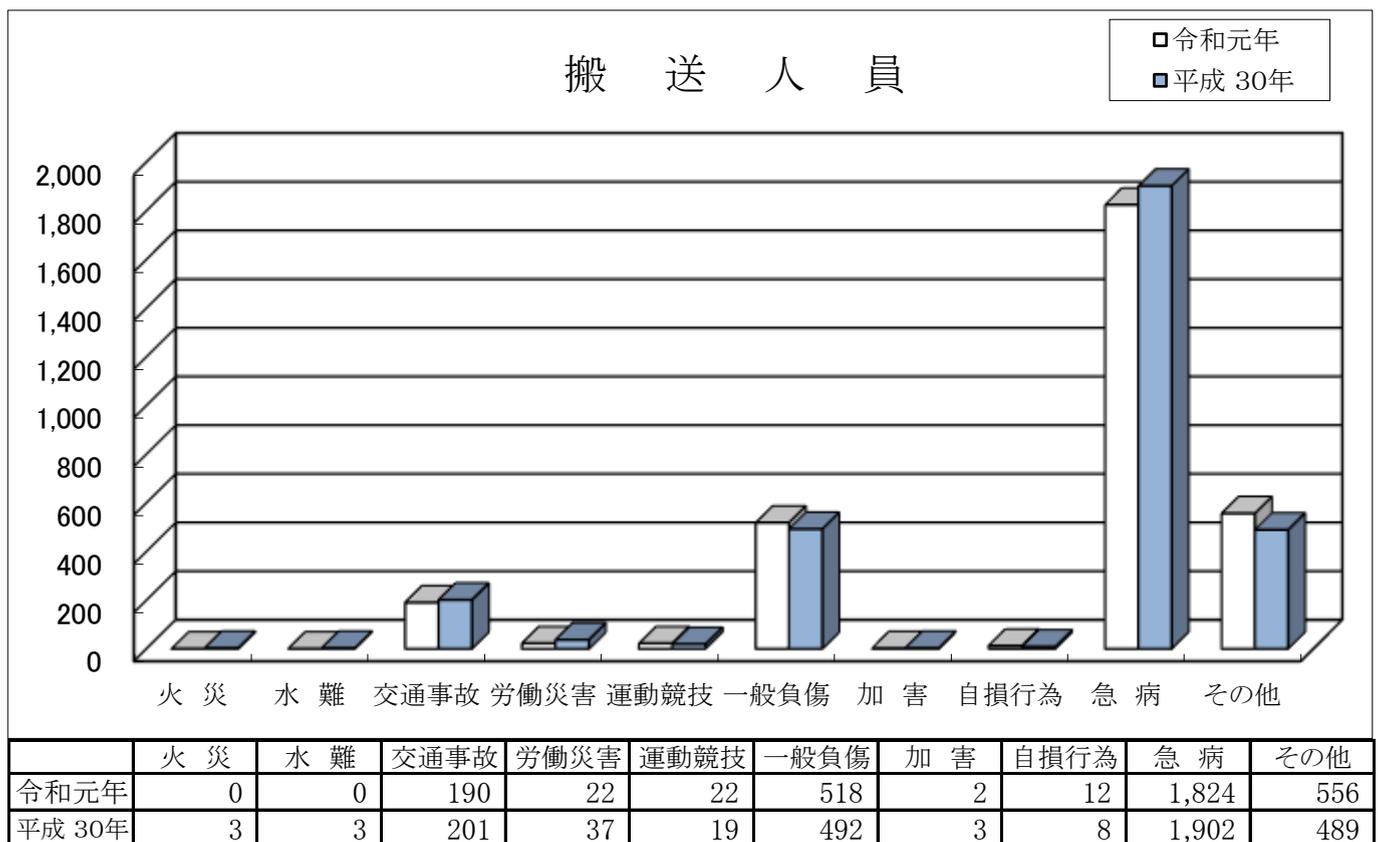
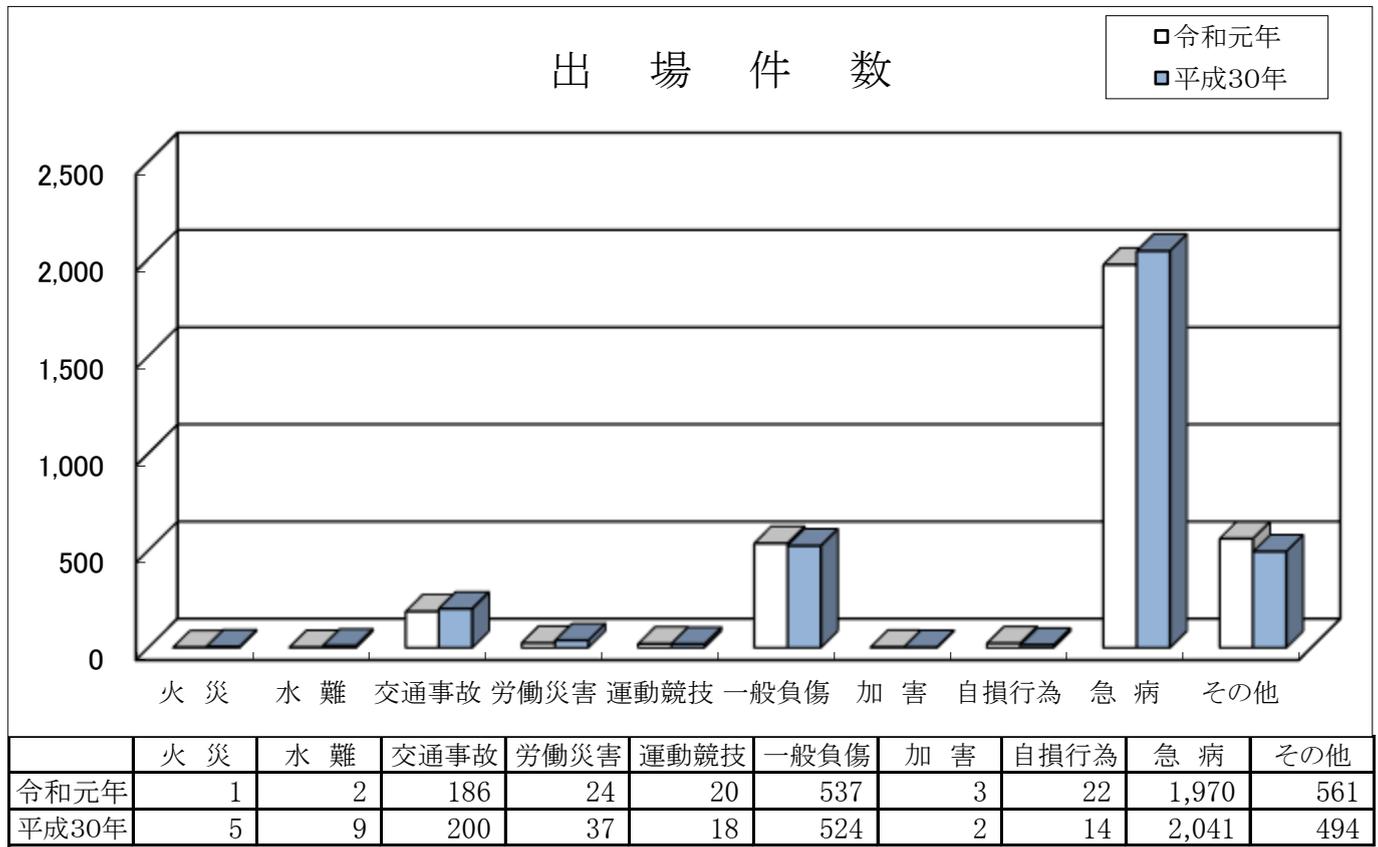
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

区分 事故種別	組 合						令和 元 年												
	出 場 件 数			搬 送 人 員			大洲高規格隊1		大洲高規格隊2		長浜高規格隊		川上高規格隊		内子高規格隊		小田高規格隊		
	令和 元 年	平成 30 年	増 減	令和 元 年	平成 30 年	増 減	出 場 件 数	搬 送 人 員											
火 災	1	5	▲ 4	0	3	▲ 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
自 然 災 害	0	1	▲ 1	0	1	▲ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	2	9	▲ 7	0	3	▲ 3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
交 通 事 故	186	200	▲ 14	190	201	▲ 11	86	84	33	36	19	20	4	4	36	37	8	9	
労 働 災 害	24	37	▲ 13	22	37	▲ 15	7	6	2	2	4	4	5	5	3	3	3	2	
運 動 競 技	20	18	2	22	19	3	9	9	3	3	0	0	2	2	3	3	3	5	
一 般 負 傷	537	524	13	518	492	26	216	209	50	50	80	79	40	39	121	113	30	28	
加 害	3	2	1	2	3	▲ 1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
自 損 行 為	22	14	8	12	8	4	11	4	1	1	1	1	2	1	6	4	1	1	
急 病	1,970	2,041	▲ 71	1,824	1,902	▲ 78	873	806	144	133	253	230	128	119	468	437	104	99	
そ の 他	561	493	68	556	488	68	197	195	243	241	19	19	30	29	63	63	9	9	
合 計	3,326	3,344	▲ 18	3,146	3,157	▲ 11	1,401	1,314	476	466	378	354	211	199	701	660	159	153	

※ ▲は減

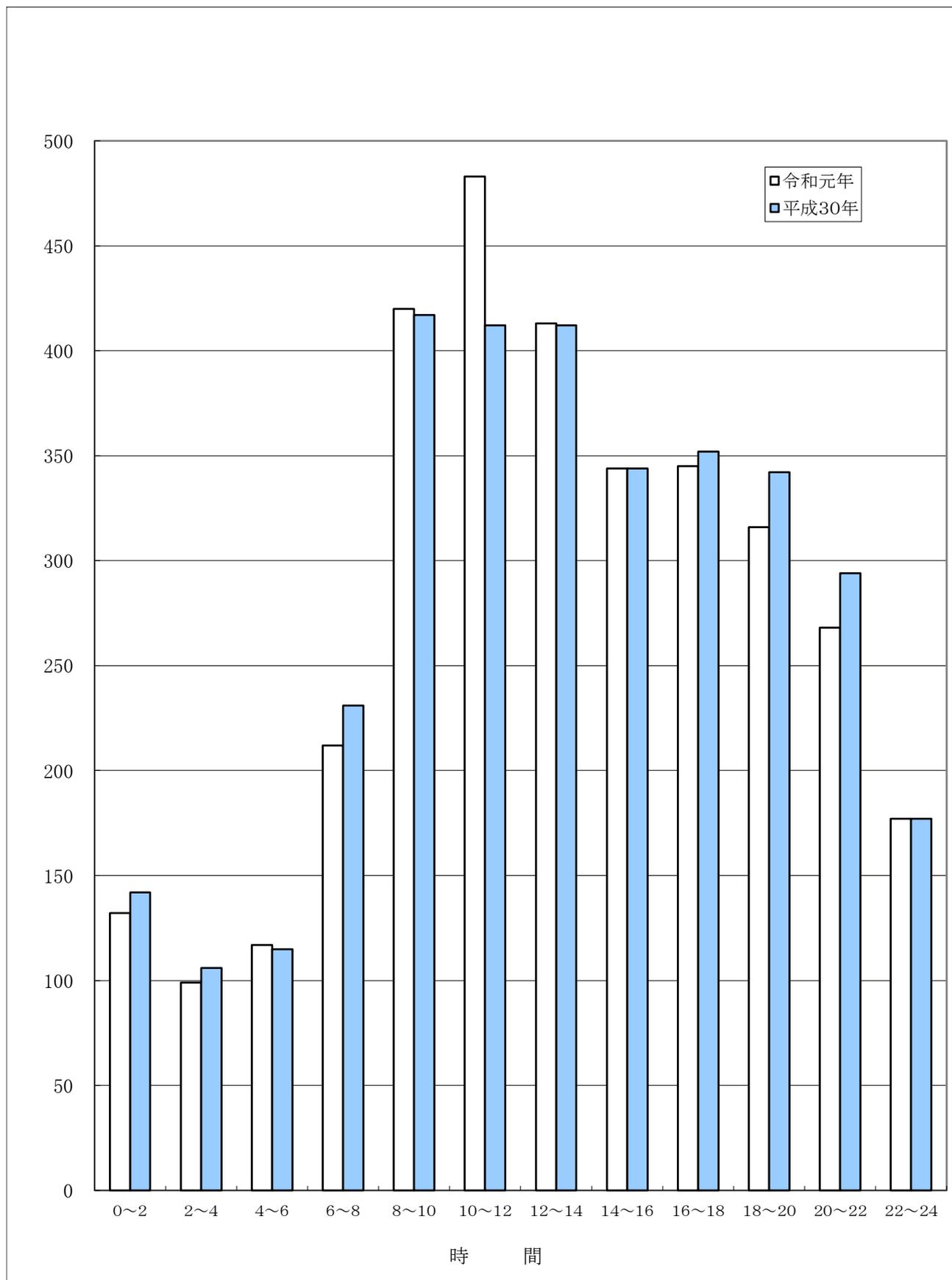
3表 事故種別出場件数・搬送人員



4表 市町別救急業務状況

市 町 事故種別	組 合	大 洲 市				内 子 町			管轄外
		大 洲	長 浜	肱 川	河 辺	内 子	五十崎	小 田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急 病	1,970	1,039	252	87	20	332	143	94	3
	1,824	956	230	81	19	315	131	89	3
一 般 負 傷	537	276	80	29	6	79	40	27	0
	518	269	79	28	6	71	40	25	0
交 通 事 故	186	118	22	2	1	26	9	8	0
	190	115	24	2	1	31	9	8	0
自 損 行 為	22	10	3	2	0	5	1	1	0
	12	4	2	1	0	3	1	1	0
労 働 災 害	24	13	3	2	1	1	1	3	0
	22	12	3	2	1	1	1	2	0
運 動 競 技	20	10	0	2	0	5	0	3	0
	22	10	0	2	0	5	0	5	0
加 害	3	2	1	0	0	0	0	0	0
	2	1	1	0	0	0	0	0	0
火 災	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	2	0	1	0	0	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	561	466	17	2	3	51	21	1	0
	556	463	17	0	3	51	21	1	0
合 計	3,326	1,934	379	126	31	500	215	138	3
	3,146	1,830	356	116	30	477	203	131	3

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和元年	132	99	117	212	420	483	413	344	345	316	268	177
平成30年	142	106	115	231	417	412	412	344	352	342	294	177

6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1月	33	41	59	59	46	40	41	319
2月	34	34	34	34	30	36	30	232
3月	47	45	43	41	31	38	35	280
4月	40	49	55	30	33	42	36	285
5月	30	32	35	50	41	44	30	262
6月	41	41	43	32	38	40	29	264
7月	39	35	48	53	39	37	31	282
8月	49	48	43	33	33	44	60	310
9月	50	56	38	41	37	40	30	292
10月	27	41	45	39	39	45	25	261
11月	36	42	35	35	26	51	55	280
12月	41	47	40	28	35	39	29	259
合計	467	511	518	475	428	496	431	3,326

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員		1,824	190	518	614	3,146
処置項目						
止	血	11	8	56	4	79
固	定	26	71	204	31	332
人	工呼	31	0	7	3	41
心	マッサー	29	0	7	3	39
	うち自動	14	0	4	1	19
心	肺蘇生	38	0	8	3	49
	うち自動	8	0	1	2	11
酸	素吸入	452	10	51	242	755
気	道確保	65	1	14	7	87
	うち経鼻	4	0	1	0	5
	うち異物除去	1	0	0	0	1
	ラリングアルマスク等	14	0	1	2	17
	気管挿管	0	0	0	0	0
保	温	1,265	87	307	429	2,088
被	覆	11	26	108	13	158
在	宅療法継続	8	0	0	1	9
	点滴処置	3	0	0	0	3
	外瘻処置	0	0	0	0	0
	その他	6	0	0	1	7
除	細動	6	0	0	1	7
静脈路確保	心肺機能停止前	5	0	0	0	5
	心肺機能停止後	19	0	0	0	19
血	糖測定	26	0	0	0	26
ブドウ糖	溶液投与	3	0	0	0	3
薬	剤投与	4	0	0	1	5
その他の応急処置		1,585	62	309	325	2,281
血	圧測定	1,749	189	501	598	3,037
聴	診器による聴取	468	36	76	58	638
血中酸素飽和度測定		1,768	188	502	605	3,063
心	電図	558	11	37	149	755
合	計	8,127	689	2,187	2,473	13,476

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		急	病		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外	
救急告示医療機関	国立	6	6			1	1	28	28	35	35	
	公立	615	165	70	14	191	52	203	133	1,079	364	
	公的	16	16			2	2	58	58	76	76	
	私的病院	私的病院	1,117	6	116		318	1	234	7	1,785	14
		私的診療所										
計	1,754	193	186	14	512	56	523	226	2,975	489		
その他の医療機関	国立	4	4					5	5	9	9	
	公立	35	35	4	4	3	3	80	80	122	122	
	公的	5	5							5	5	
	私的病院	私的病院	2	1			2		3	2	7	3
		私的診療所	24				1		3	2	28	2
計	70	45	4	4	6	3	91	89	171	141		
計	国立	10	10			1	1	33	33	44	44	
	公立	650	200	74	18	194	55	283	213	1,201	486	
	公的	21	21			2	2	58	58	81	81	
	私的病院	私的病院	1,119	7	116		320	1	237	9	1,792	17
		私的診療所	24				1		3	2	28	2
計	1,824	238	190	18	518	59	614	315	3,146	630		
その他の場所	接骨院											
	その他											
	計											
合計		1,824	238	190	18	518	59	614	315	3,146	630	

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市 町		区 分	人 口 (人)	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	人口1,000人当りの 発生件数(件)
大 洲 市	大	洲	33,747	1,934	1,830	57
	長	浜	6,325	379	356	60
	肱	川	1,987	126	116	63
	河	辺	647	31	30	48
内 子 町	内	子	9,049	500	477	55
	五	十 崎	5,147	215	203	42
	小	田	2,150	138	131	64
組 合 管 内			59,052	3,323	3,143	56
管 轄 外				3	3	
合 計				3,326	3,146	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分		事 故 種 別											合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
大 洲 市	大 洲	0	0	0	44	2	0	212	0	2	637	321	1,218
	長 浜	0	0	0	13	1	0	69	0	1	179	17	280
	肱 川	0	0	0	0	0	0	25	0	0	46	0	71
	河 辺	0	0	0	0	1	0	6	0	0	17	3	27
内 子 町	内 子	0	0	0	13	0	1	53	0	0	224	39	330
	五 十 崎	0	0	0	5	0	0	31	0	0	100	18	154
	小 田	0	0	0	6	0	0	20	0	1	77	1	105
その他(管轄外)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	81	4	1	416	0	4	1,280	399	2,185

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市 町		疾病分類									合 計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	
大 洲 市	大 洲	62	75	50	115	5	38	26	13	253	637
	長 浜	8	18	21	38	2	12	9	7	64	179
	肱 川	3	7	7	3	1	8	0	0	17	46
	河 辺	0	3	3	3	0	1	0	0	7	17
内 子 町	内 子	22	23	17	45	2	15	7	4	89	224
	五 十 崎	14	11	15	7	2	7	3	4	37	100
	小 田	9	10	10	8	1	6	3	2	28	77
合 計		118	147	123	219	13	87	48	30	495	1,280

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。